

第33期 中間報告書

(2010.3.1 ~ 2010.8.31)



イオン北海道株式会社

(証券コード 7512)

イオン北海道は、北海道でNo.1の小売業への実現に向け、
更なるステップアップを図っていきます。

代表取締役社長 植村忠規



平素より当社経営に関して格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。

当第2四半期累計期間における北海道の経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、まだまだ先行きに対する不透明感や雇用不安等から厳しい状況が続いております。

このような経済環境の中、当期間における当社の業績は、売上高747億26百万円、営業利益16億65百万円、経常利益13億24百万円、四半期純利益は7億68百万円と大幅な増益となり、当初業績見通しの数値に対しても利益面で大きく上回ることができました。

当社は、統合3年目を迎え、引き続き競争に勝ち抜くための構造改革に取り組んでおり、①営業力の強化②収益構造の改革③成長戦略の推進④環境・社会貢献活動の推進、の2010年度の重点施策を着実に推進し、北海道No.1の小売業への実現に向け、更なるステップアップを図ってまいります。

「営業力の強化」では、低価格商品の品揃えの強化に加えて、地域に対応した商品の取り込みを強化しております。また、成長分野のペットや手芸・ホビー関連の売場の拡大・導入を図るとともに、地元で人気のテナントの導入等魅力ある売場作りにも取り組んでおります。さらに、電子マネー「WAONカード」の会員獲得増強や利用率の促進を図り、顧客の囲い込みを進めております。

「収益構造の改革」では、ローコストオペレーションを

確立すべく、人件費や設備費などの削減に積極的に取り組み、当期間において、販管比率は1.5ポイント改善いたしました。同時に売価変更の削減を推進するなど売上総利益率の改善にも取り組み、利益率は0.5ポイント改善いたしました。

「成長戦略の推進」では、8月に通販サイトのe-shop「北海道産地直送便」をオープンし、北海道の「旬」にこだわった特産品を、北海道だけでなく全国に向けて提供を開始いたしました。また、ネットスーパー事業では、3月に旭川エリアでもスタートしましたが、11月には千歳で通常エリアの7倍となる半径100kmの商圏を対象とする広域エリア配送の実験を開始いたします。

「環境・社会貢献活動の推進」では、生物多様性保全の取り組みの一環として河川敷等の清掃活動の実施や、「レジ袋無料配布中止」で得たレジ袋収益金の活用により排出権の購入や地方自治体への寄付を実施しております。

2010年度の業績見通しにつきましては、売上高1,500億円、営業利益27億円、経常利益20億5千万円、当期純利益10億円を予想しております。今後も厳しい状況が予想されますが、現在取り組んでいる施策を着実に推進し、当初より掲げている計画数値を確実に達成させてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2010年11月

四半期決算総括

(単位：百万円)

	第33期 2010.3.1～2010.8.31	第32期 2009.3.1～2009.8.31
売 上 高	74,726	75,639
営 業 利 益	1,665	55
経 常 利 益	1,324	△62
四半期純利益	768	△96
総 資 産	90,353	95,095
純 資 産	16,273	14,414

注1：記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

注2：当社は、総合小売業を北海道で31店舗展開しております。
2009年9月1日付けで当社100％出資の連結子会社である有限会社ティーウィンを吸収合併したため、連結決算から非連結決算となっております。

営業全般の状況

当社は重点施策である「営業力の強化」や「収益構造の改革」の取り組みにより、売上高は既存店前年比97.8％にまで回復し、売上総利益率0.5ポイントの改善により、営業総利益額では1億34百万円の増益に転じることができました。さらに人件費や設備費を中心とした販売費及び一般管理費の削減により、大幅増益を果たしております。

衣料部門は、婦人衣料のミセス売場見直しなどに加え、猛暑により夏物衣料が好調に推移し、第2四半期では計画どおりの数値を確保できました。しかしながら、第1四半期の低温で春物衣料の不振による売上のマイナスをカバーできず、売上高は96.2％となっております。

食品部門は、道産デーなどの得意日を強化するとともに、売場毎に強化品目を設定して客数の拡大に取り組みましたが、競合店との価格競争が激しい中、一点単価が97.8％にダウンしたこともあり、売上高は98.8％にとどまりました。

住居余暇部門は、雑貨・手芸売場やH&BC売場等の活性化を推進いたしました。また、ホームファッションでは、地域商材の品揃えの強化や見やすく買いやすい売場へのレイアウト変更を実施した結果、客数は102.3％になりましたが、客単価97.4％の落ち込みをカバーできず、売上

四半期部門別売上高

(単位：百万円)

	第33期 2010.3.1～2010.8.31	第32期 2009.3.1～2009.8.31
衣 料	18,124	18,829
食 品	40,831	40,677
住 居 余 暇	15,229	15,188
そ の 他	542	943
合 計	74,726	75,639

注：記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

高は99.6％となっております。

また、売上総利益率は25.8％で、昨年と比べ0.5ポイント改善し、全部門において利益率が改善いたしました。

衣料部門では、シーズン商品の導入・処分サイクルの早期化等により、値入率及び売価変更率が改善し、売上総利益率は0.3ポイント改善いたしました。

食品部門では、廃棄率の改善等生鮮を中心とした売価変更削減等により、売上総利益率は0.5ポイント改善いたしました。

住居余暇部門では、ホームファッション売場の見直しによる1.6ポイントの利益改善が住居余暇の0.9ポイントの利益率改善に大きく貢献いたしました。

販売費及び一般管理費については、特に構成比の高い人件費や設備費について大幅な削減を実現させることができました。

人件費では、従業員の配置見直しや投入労働時間のコントロールを強化し、また作業効率の改善にも取り組み、3億7百万円の削減を図りました。

設備費では、特に電気料金、修繕費、地代家賃の大幅削減により、9億77百万円の削減を図ることができました。

結果、販売費及び一般管理費合計では、5.5％、14億74百万円の削減を実現できました。

財務諸表（概要）

四半期損益計算書

(単位：百万円)

	第33期 2010.3.1～2010.8.31	第32期 2009.3.1～2009.8.31
売上高	74,726	75,639
売上原価	55,432	56,454
売上総利益	19,294	19,185
その他の営業収入	7,818	7,793
営業総利益	27,112	26,978
販売費及び一般管理費	25,447	26,922
営業利益	1,665	55
営業外収益	134	420
営業外費用	475	538
経常利益	1,324	△62
特別利益	—	—
特別損失	50	200
税引前四半期純利益	1,273	△262
法人税、住民税及び事業税	206	47
法人税等調整額	298	△214
四半期純利益	768	△96

四半期キャッシュ・フロー計算書

(单位：百万円)

	第33期 2010.3.1～2010.8.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	△114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△564
財務活動によるキャッシュ・フロー	△374
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の減少額	△1,052
現金及び現金同等物の期首残高	5,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,591

注：2010年2月期第2四半期は連結財務諸表を作成しているため、前第2四半期累計期間（自2009年3月1日至2009年8月31日）における四半期キャッシュ・フロー計算書については記載していません。

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	第33期 2010.8.31	第32期末 2010.2.28
【資産の部】		
流動資産	22,376	24,586
(うち商品)	10,385	12,272
固定資産	67,977	67,876
有形固定資産	50,559	49,626
無形固定資産	1,820	1,882
投資その他の資産	15,596	16,366
資産合計	90,353	92,462
【負債の部】		
流動負債	42,895	46,719
固定負債	31,184	30,250
負債合計	74,080	76,970
【純資産の部】		
株主資本	16,279	15,507
資本金	6,100	6,100
資本剰余金	13,354	13,354
利益剰余金	△1,529	△2,293
自己株式	△1,646	△1,654
評価・換算差額等	△26	△24
新株予約権	20	8
純資産合計	16,273	15,491
負債及び純資産合計	90,353	92,462

会社概要

社 代 本	名 者 社	イオン北海道株式会社 植村 忠規（代表取締役社長） 〒003-8630 札幌市白石区本通21丁目南1-10
事 業 内 容	設 立	総合小売業 1978年4月5日
資 本 金		61億43万円
上場金融商品取引所		東京証券取引所市場第一部
(証券コード 7512)		札幌証券取引所
決 算 期		2月末日
売 上 高		1,503億円（2009年3月～2010年2月）
店 舗 数		31店舗
従 業 員 数		7,188名
主要取引銀行		みずほコーポレート銀行、北洋銀行、 住友信託銀行、北海道銀行、農林中央金庫、 三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、 北陸銀行

取締役・監査役

(2010年10月6日現在)

代表取締役社長	植村忠規	
取締役	柴田祐司	常務執行役員営業本部長
取締役	天廣俊彦	執行役員管理本部長 企業倫理担当役員
取締役	岡野文彦	執行役員営業本部第一事業部長 兼SuC事業部長
取締役	清水信昭	執行役員管理本部総務部長
取締役	富永正司	執行役員営業本部第三事業部長
取締役	橋本優	執行役員営業本部第二事業部長
常勤監査役	小笠原博	
監査役	古河昭一	
監査役	市原伸一	
監査役	小倉通彰	

注：市河昭氏、古原伸一氏、小倉通彰氏は社外監査役であります。

執行役員

0月6日現在)

執行役員	上	西	啓	一	経営監査室長
執行役員	水	野	良	三	営業本部SC事業部長
執行役員	大	野	芳	高	管理本部CS・社会貢献部長
執行役員	熊	谷	弘		営業本部食品商品部長
執行役員	竹	垣	吉彦		経営企画室長兼新規事業部長
執行役員	伊	藤	智之		営業本部営業企画部長
執行役員	豊	田	和宏		管理本部財務経理部長

株主優待

2月末日の株主さまに、保有株式数に応じて全国のイオングループでご利用できる株主優待券を贈呈いたします。また、500株以上保有の株主さまには、イオングループ120店舗に開設している「イオンラウンジ」をご利用できるご利用カードを発行いたします。

【株主優待券の贈呈】

年1回100株以上保有の株主さまに優待券を贈呈します。

保有株式数	優待内容
100株 ～ 999株	100円券× 25枚＝ 2,500円分
1,000株 ～ 1,999株	100円券× 50枚＝ 5,000円分
2,000株以上	100円券×100枚＝10,000円分

【イオンラウンジのご利用】

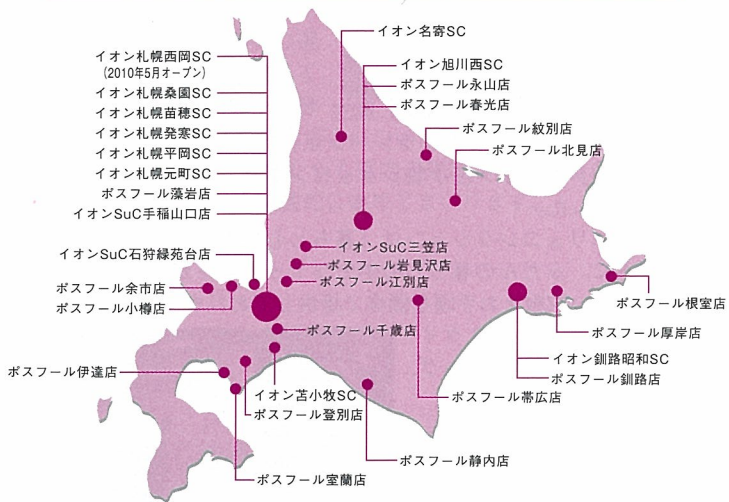
お買物の合間にごゆっくりとおくつろぎいただくために、ラウンジ会員さまに限定したサービスをご用意しております。全国のイオンラウンジ設置店舗にてカードをご提示のうえお気軽にご利用下さい。

(注：2010年4月からイオンラウンジご利用カードの発行は個人株主さまとさせていただきます。)

【有効期限】

有効期限は発行後1年間とし、それぞれに記載されている期限とします。

店舖情報



トピックス

e-shop

「北海道産地直送便」オープン



イオン北海道では、2010年8月12日（木）から直販サイト「北海道産地直送便」をオープンいたしました。当社は北海道に根ざした企業として、地域の発展に貢献する企業・お店づくりを目指し、また毎月「道産デー」を開催するなど地域名産品の販売に力を入れています。そしてこの度、北海道の「旬」にこだわった特産品を、北海道だけではなくこの「北海道産地直送便」をご利用いただくことにより、全国に向けてご提供できるようになりました。ご自宅にしながら北海道の新鮮な商品を産地直送で全国にお届けいたします。また、「安心・安全」にこだわった当社のお薦め商品を取り揃えております。



イオン北海道は、これからも北海道の特産品を全国に提供する取り組みを積極的に進めてまいります。またネットスーパー「ネットで楽宅便」やこの度の「北海道産地直送便」など、さまざまなサービスの開発に努めてまいります。

イオンの新ブランドショップ「トップバリュコレクション」誕生

TOP VALU COLLECTION

2010年9月 イオンの新ブランドショップ「トップバリュコレクション」がイオン苫小牧ショッピングセンターにオープンいたしました。

トップバリュコレクションは「暮らし心地の良い服」をコンセプトに、ふだんの暮らしの中でファッションが楽しめる着心地の良い衣服をお手頃な価格で提供しております。

お客さまのライフスタイルに合わせ、ジーンズ、ナチュラル、トラッド、スポーツタイプの4つのテーマで構成、お客さまが“やりたい”テーマのトレンドコーディネートが気軽に選べいただけます。



イオン札幌西岡ショッピングセンターオープン

2010年5月28日（金）イオン札幌西岡ショッピングセンターがオープンいたしました。オープンに先立ち、5月16日（日）にショッピングセンター敷地内にて「イオンふるさとの森づくり」植樹祭を実施いたしました。当日は、ご応募いただいた近隣にお住まいの約200名の皆さまにご参加いただき、従業員とともにヤマブキ、ミズナラなど「ふるさとの木」約3,000本を植樹いたしました。



イオン札幌西岡ショッピングセンターは、『地域の皆さまの豊かで楽しい暮らしを応援するお店』をコンセプトに、鮮度と価格にこだわった商品と、生活を豊かに彩る商品を揃え、お客さまそれぞれの毎日に貢献するお店を目指しております。

札幌市に「イオン環境基金」創設

この度、札幌市に環境保全活動を支援する「イオン環境基金」が創設されました。

当社では、2008年6月からレジ袋の無料配布中止の取り組みを開始しており、現在全店31店舗で実施しております。このレジ袋無料配布の中止に伴うレジ袋収益金は、その半額を店舗が所在する地方自治体や地域の市民団体などの組織に寄付し、環境保全活動や地域貢献活動などの取り組みに役立てていただいております。また、残りの半額はCO₂排出権を購入し政府（環境省）に無償譲渡（寄付）いたしております。今回、このレジ袋収益金をもとに札幌市まちづくり基金に「イオン環境基金」が創設されました。イオン北海道は、これからも皆さまとともに環境保全活動に取り組んでまいります。



イオンサイクル安全教室

イオン北海道は、札幌市、札幌市交通安全推進委員会及び北海道警察本部交通部と連携して「イオンサイクル安全教室」を実施いたしました。

サイクル（自転車）は、環境に優しくそして便利な乗り物として広く利用されており、当社もエコで健康な暮らしを応援すべく、サイクル販売、修理等のサービスを提供しております。しかしながら、間違った乗り方や、ルール・マナーを無視した乗り方が重大な交通事故につながる場合があります。

そこでイオン北海道では、小売業の使命としてお客さまへの自転車の安全利用を呼びかけるため、行政と合同で「イオンサイクル安全教室」を札幌市内店舗、近郊店舗8店舗で実施いたしました。この「イオンサイクル安全教室」開催に向け、各店舗では従業員向けに「イオンサイクル安全講習」を実施し、自転車のルール・マナーを学んでおります。

イオン北海道はこれからも、地域に根ざした企業として安全・安心なまちづくりに貢献できるようなさまざまな取り組みを積極的に推進してまいります。



「北海道支笏湖植樹」活動を実施

2010年6月北海道樽前山麓にて「北海道支笏湖植樹」を実施しました。

「支笏湖植樹」は、2004年9月の台風18号により多数の倒木被害をうけた支笏湖周辺の森の再生を目指して、北海道森林管理局胆振東部森林管理署と（財）イオン環境財団が2007年から5ヵ年計画で実施しており、今年で4年目となります。昨年までに延べ3,200名の参加者が、計20,250本を植樹いたしました。この植樹活動は、命はぐくむ森を一刻も早く再生したいという皆さまの思いから、地域の方々とともに実施いたしております。



「ウチダザリガニ」調査から「生物多様性」を学ぶ

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性

イオン北海道は、洞爺湖生物多様性保全協議会が主催するウチダザリガニ防除の取り組みに賛同し、JAとうや湖と協力してウチダザリガニ防除活動に参加しました。

イオングループでは、事業活動における「生態系」への「めぐみ」と「いたみ」を自覚し、「まもる」「そだてる」ための活動をさらに推進すべく、2010年3月「イオン生物多様性方針」を策定しております。また、イオンのプライベートブランド「トップバリュ グリーンアイ」は自然の持つ力を最大限にいかして生産され、地球環境に優しいことをコンセプトにしており、JAとうや湖でも「トップバリュ グリーンアイ」の商品を生産しております。

そこでJAとうや湖とともに、洞爺湖生物多様性保全協議会が実施しております特定外来種「ウチダザリガニ」の防除活動に参加させていただき、生物多様性について学ぶ機会を設けました。

イオン北海道からは伊達チアーズクラブ（ボスフル伊達店主催の小学生を中心とした環境を学ぶクラブ）とボランティアが参加し、捕獲されたウチダザリガニの選別作業の手伝いを通じて、



“ふるさと”洞爺湖の生態系や生物多様性保全の大切さについて学びました。

イオン北海道は、これからも道内の生物多様性保全のためさまざまな取り組みを積極的に進めてまいります。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
	そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事務取扱場所	住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
公告方法	当社ホームページに掲載いたします。 http://www.aeon-hokkaido.jp/finance_03.html

イオン北海道株式会社

〒003-8630 札幌市白石区本通21丁目南1-10
TEL 011-865-4120
URL <http://www.aeon-hokkaido.jp/>



木を植えています

私たちはイオンです